

帯広の研究活動

研修部長 帯広市立栄小学校

校長 大場 渉

1. はじめに

帯広市校長会は小学校26校、中学校14校で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としてまとまりつつ、小学校長会、中学校長会に分かれて、具体的な活動に取り組んでいる。調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設け、実践的な積み上げを目指している。また、道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子ども一人一人の学びに責任をもつ職能団体としてその機能を果たしている。



2. 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

～北の大地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ①これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ②各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③教育の今日的課題や道小研の研究発表等を踏まえ、研究委員会組織を見直し、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根差した教育の在り方を探求する。四つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において実践を交流し、研修を深める。小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。

①職能向上に関する研修

ア 地域連携委員会

○テーマ「拓かれた学校と地域社会との連携協力の推進について」

○研究内容

・地域の教育資源を有効に活用するための手立てについての交流

→各校の特色ある実践例の交流として、人材活用、校種間連携(幼保小中連携)、学校支援地域本部事業など

・地域連携を活用した学校改善を推進する校長の在り方についての交流

イ 学校の危機管理委員会

○テーマ「リスクマネジメントによる積極的な危機管理の在り方」

○研究内容

- ・児童の問題行動の分析や未然防止に向けた研究交流
- ・安心安全な環境づくり，事故や事件の予防し対応についての研究交流
- ・危機管理に強い組織の育成についての研究交流

ウ 現職教育委員会

○テーマ「教職員の人間性と専門性を高め，意識改革を促す現職教育と校長の在り方」

○研究内容

- ・教育改革に対応した校長のリーダーシップや組織マネジメント等，校長に求められる資質向上のための研修
- ・若手教師やミドルリーダーの育成につながる「現職セミナー」の開催

エ 教育課程委員会

○テーマ「社会形成能力の育成を目指す教育課程の編成に関する研究」

○研究内容

- ・小学校におけるキャリア教育の在り方
- ・キャリア教育を位置付けた教育課程の留意点
- ・各校の実践交流及び帯広市におけるキャリア教育の課題と方向性

②学校経営基礎研修の開催

ア 目的

採用2年目までの校長を対象に，学校経営の進め方等について学び交流し，職能向上を図ろうとするもの。

イ 概要

○年間2回実施（7月，12月）

○講話（先輩校長から学校経営の要点について話を聞く）

○交流（課題について実態を持ち寄り，考え方等を交流する）

③学校経営研究協議会の開催

ア 目的

校長としての職能向上や学校教育の改善，充実に資するため，今日的教育課題や学校経営の在り方について研修を深める。

イ 概要

○平成25年11月27日（水）小中研究委員会の研究成果を発表後，グループ協議

○協議内容

- ・リスクマネジメントによる積極的な危機管理の在り方（小学校危機管理委員会）
- ・教職員を育てる中学校の校内研修の在り方（中学校学校経営委員会）

○講演

- ・講演題「北海道教育の今日的課題」
- ・講師 北海道教育庁十勝教育局義務教育指導監 古川 幸宏 氏
- ・内容 「確かな学力と学校経営，教職員の指導力向上と職員マネジメント」

④研究紀要「教育新潮」の発行（3月予定）

3. おわりに

学校経営上の今日的な課題に正対し，本市の教育振興に寄与するという目的のために校長としての自己研鑽と組織力の向上を目指し，引き続き研修に邁進したい。